

## 病巣感染症を疑って扁桃摘出をおこなった症例の 予後の検討

乾 智 一      喜友名 朝 則      鈴 木 幹 男  
琉球大学耳鼻咽喉科

病巣感染症は症状の発現部位が耳鼻咽喉科領域ではないため、その治療においては関係他科との連携が必要不可欠である。一般に病巣疾患としてIgA腎症、掌蹠膿疱症、胸肋鎖骨過形成症の3疾患が広く知られており、扁桃摘出により改善したとの報告が多い。当科ではこれらの疾患に扁桃との関連性を疑わせる所見がある場合には他科と協力して積極的に扁桃摘出を行っている。今回我々は2004年から2008年4月の間に、当科にて病巣扁桃感染症を疑い、扁桃摘出術を施行したのは60例であった。各々の疾患別にその疾患予後について検討を行ったので文献的考察を加え報告する。